



第 19 回福岡脳卒中救急カンファレンス

謹啓

秋冷の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より医療連携に関しましてご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今回も、救急搬送状況と事例検討 2 題を提示致します。今回はミニレクチャーとして tPA 静注療法や脳血管内治療の早期開始に関する当病院の取り組みについて紹介いたします。

万象お繰り合わせの上、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

謹白

日時：2016 年 10 月 28 日（金）19:00～20:00

場所：済生会福岡総合病院 14 階講義室

〒810-0001 福岡市中央区天神 1 丁目 3 番 46 号

電話 092-771-8151 FAX 0120-77-6609

[脳卒中救急搬送状況報告] 19:00～19:10

済生会福岡総合病院・福岡市民病院 2016 年 7 月～9 月の脳卒中受け入れ状況

[事例検討] 19:10～19:30

1. t-PA 後に脳出血をきたした脳血管炎による脳梗塞と考えられた 1 例

博多本署救急隊

福岡市民病院 神経内科 芥川宜子

2. 意識障害で発症し初期診断に時間を要した後大脳動脈領域梗塞の 1 例

多々良救急隊

済生会福岡総合病院 神経内科 脳血管内科 水田滋久

[ミニレクチャー] 19:30～20:00

「脳梗塞急性期治療：開始時間短縮を目指して」

済生会福岡総合病院 神経内科 脳血管内科 部長

岩田智則

※ 日医生涯教育講座 1 単位を取得する予定です。

(カリキュラムコード 10 チーム医療 12 地域医療)

※ なお、当日は軽食をご用意させていただきます。

※ 10 月 21 日（金）までに FAX にてお返事いただくと幸いです

共催：福岡脳卒中救急カンファレンス / バイエル薬品(株)